

『類型別スポーツ仲裁判例100』

目 次

序 章 スポーツ紛争の解決方法（総論）

I	スポーツ紛争の解決手段	2
II	スポーツ仲裁とは	3
III	仲裁法の適用	4
IV	JSAA	5
1	JSAA の概要	5
2	JSAA の手続の種類と案件の傾向	6
3	JSAA のスポーツ仲裁手続	7
4	ドーピング事案の規律手続	9
V	CAS	10
1	CAS の概要	10
2	CAS の仲裁手続	10
3	CAS AHD の仲裁手続	12
VI	ドーピング	14
1	ドーピングに関する規則と機関	14
2	日本におけるドーピング事案の概略、手続の流れ	15

第 1 章 管轄、仲裁合意

Case001	スポーツ紛争の「法律上の争訟」性①	20
Case002	スポーツ紛争の「法律上の争訟」性②	22
Case003	スポーツ紛争の「法律上の争訟」性③	25
Case004	CAS AHD の管轄と紛争が生じた日①	28
Case005	CAS AHD の管轄と紛争が生じた日②	31

Case006	仲裁合意に関する裁判所の判断と仲裁廷の管轄①	34
Case007	CAS AHD の管轄と紛争が生じた日③	37
Case008	仲裁合意に関する裁判所の判断と仲裁廷の管轄②	40
Case009	競技団体の自動応諾条項からの離脱	44
Case010	CAS AHD の管轄と紛争が生じた日④	47

第2章 出場資格

Case011	義足による有利な影響の判断基準〔両足義足ランナーの健常者レースへの出場資格〕	52
Case012	禁反言の法理と代表選考①	55
Case013	禁反言の法理と代表選考②	57
Case014	二重登録を理由とする明文規定のない選手登録の凍結処分の適否	60

第3章 代表選考、出場枠の配分

Case015	専門競技者の代表選考基準を知る権利〔競泳・千葉すず事件〕	66
Case016	不完全な世界ランキングに基づくオリンピック出場枠の割当ての取消し	69
Case017	瑕疵のある選考決定をした選考委員会への差戻しの適否	71
Case018	IF が定めた選考基準と NOC の裁量	73
Case019	日本代表に選考されたことの確認および選考基準制定等の請求の適否	76
Case020	オリンピック日本代表選考決定の取消し	79
Case021	選考基準の事後的な変更の適否	83
Case022	チームスポーツにおける代表選考の適否	86

目 次

Case023	代表選考決定の取消しと仲裁廷による代表選考決定	89
Case024	代表選考に関する競技団体の裁定の取消し、Field of Play 原則、ローカルルールの適用	94
Case025	選考基準自体の取消し①	99
Case026	選考基準自体の取消し②	102
Case027	選考システムの変更〔日本山岳・スポーツクライミング協 会事件〕	105
Case028	中央競技団体の強化方針の合理性	109
Case029	NF の NOC 非加盟と Universality Place による代表選考	113

第 4 章 競技団体等による処分

Case030	衣類上の広告等のサイズに関するオリンピック憲章違反の 判断方法	118
Case031	仲裁判断の限界、処分取消しの判断基準	120
Case032	オリンピック予選の開催方法	122
Case033	統括団体による代表内定取消し処分の権限	125
Case034	処分取消しの判断基準①	127
Case035	処分取消しの判断基準②	128
Case036	代表選考後に発覚したドーピング疑惑と代表からの排除の 適否	130
Case037	処分の根拠事実の証拠の不存在を理由とした裁判所による 処分取消し	133
Case038	オリンピック選考からの除外決定の取消し	135
Case039	指導者に対する手続的瑕疵のある懲戒処分の有効性	138
Case040	大会特別規則の有効性	141
Case041	処分取消しの判断基準③	144
Case042	セクシュアル・ハラスメントの定義、スポーツ仲裁におけ る証明の程度	146

Case043	けん責処分の合理性、手続的瑕疵の有無	149
Case044	処分の効力停止を求める暫定措置の要件	152
Case045	オリンピック期間中の表彰式の開催を求める請求の適否 〔フィギュア団体表彰式事件〕	154
Case046	前仲裁判断を踏まえたレース中止判断の適否	158
Case047	代表選考会の指定の取消し	161
Case048	国家間の政治的対立による故意の敗退と懲戒処分の適否	165
Case049	懲戒規定を設けていない場合の懲戒の可否・限界	168

第5章 審判の判定 (Field of Play)

Case050	1位でゴールした後に宣告された失格処分の有効性	174
Case051	競技への乱入事件の順位への影響〔オリンピックマラソン 乱入事件〕	177
Case052	Field of Play の決定に関与しない試合結果の効力の判断	180
Case053	審判の判定を争うための内部救済手段の利用と CAS AHD への申立ての適否	183
Case054	僅差によりゴールした際の写真判定の有効性	185
Case055	抗議期限後になされた審判の判定に対する抗議の有効性	187
Case056	競技中の意図的接触による失格	190
Case057	フライングによる失格処分の当否と Field of Play 原則	193
Case058	競技場における審判の判断と仲裁廷の審査	197

第6章 ドーピング

Case059	検査拒否によるドーピング違反〔オリンピック男子ハン マー投げ金メダル剥奪事件〕	200
Case060	ドーピング検査手続に国際基準からの逸脱があった場合の	

目 次

	判断枠組み	203
Case061	正義および比例原則による WADC を超える資格停止期間の軽減	206
Case062	ドーピング違反における過誤・過失の有無	211
Case063	ドーピングをした競技者のオリンピック参加を禁止する IOC ルールの有効性	215
Case064	ドーピングをした競技者のオリンピック参加を禁止する BOA ルールの有効性	218
Case065	ドーピング違反による永久資格停止処分 [ランス・アーム ストロング事件]	221
Case066	規律パネル手続で争わなかった事実を JSAA 仲裁で争う ことの可否	226
Case067	資格停止期間の決定に係る過誤の判断枠組み	229
Case068	暫定的資格停止処分の取消しの要否	232
Case069	エージェントによるアンチ・ドーピング規則違反と資格停止期間の短縮 [マリア・シャラポワ事件]	236
Case070	チーム推奨サプリメントからの禁止物質の検出	240
Case071	体内侵入経路の証明がない場合の摂取が意図的でないことの証明の可否	242
Case072	汚染製品の摂取と資格停止期間の短縮①	246
Case073	金メダル有力候補のオリンピック出場機会の喪失	249
Case074	他の競技者による禁止物質の混入	252
Case075	サプリメントのインターネット検索と重大な過誤・過失の有無	254
Case076	未成年競技者の TUE 申請の要否と重大な過誤・過失の有無	255
Case077	未成年競技者による禁止物質の摂取と重大な過誤・過失の有無	257
Case078	競技者と告げずに行われた婦人科治療と重大な過誤・過失の有無	258

Case079	喘息治療薬の使用に係る TUE 申請のほかの合理的な治療法の存否	260
Case080	未成年者の競技レベルとアンチ・ドーピングに係る注意義務の程度	263
Case081	過誤・過失の不存在による資格停止期間の取消し	265
Case082	体内侵入経路の立証不十分による資格停止期間の短縮の否定	268
Case083	競技者の家族による治療薬の混入と過誤・過失の有無・程度	271
Case084	検体を破壊した競技者に対する差戻し後の仲裁判断〔競泳・孫楊事件〕	273
Case085	アンチ・ドーピング規則違反によるコーチの資格停止処分	278
Case086	要保護者に対する暫定的資格停止処分の取消し〔ワリエワ事件〕	282
Case087	汚染製品の摂取と資格停止期間の短縮②	287

第7章 サッカー

Case088	競技団体の行為に対する競争法等の適用	292
Case089	ドーピング（禁止方法としての静脈内注射）と正当医療行為〔我那覇事件〕	298
Case090	二重国籍者の代表資格	301
Case091	試合中の相手選手に対する暴力行為〔スアレス噛み付き事件〕	304
Case092	事実関係を争わない当事者による和解目的での仲裁申立ての可否	308
Case093	育成補償金の支払義務	311
Case094	18歳未満の選手の国際的な移籍に対する制限	314
Case095	選手の国際的な移籍と当事クラブの義務	317

目 次

Case096	プロ選手の定義と選手による雇用契約の一方的解除……………	321
Case097	CLFFP 規則への違反の有無 [マンチェスター・シティ 事件]……………	324
Case098	パンデミックが原因で開催できなかった試合の取扱い……………	329
Case099	国家の行為を理由とした代表チームに対する試合出場停止 処分① [FUR 対 FIFA 事件]……………	332
Case100	国家の行為を理由とした代表チームに対する試合出場停止 処分② [FUR 対 UEFA 事件]……………	338

・判断日・事件番号索引／342

・執筆者紹介／345